

市立小学校のコミュニティ・ スクール導入を進めています

学校教育課 ☎ 85-6441

コミュニティ・スクールとは、地域住民や保護者、地域で活動する団体、校長などからなる「学校運営協議会」を設置している学校のことです。

全国的な取り組みとして「学校と地域との連携強化、学校を中心とした魅力的な地域づくり」が推進されている中、市においても制度の周知や地域への声かけなどを進め、地域と学校が一体となって子どもを育むまちをめざしています。

どうしてコミュニティ・ スクールが必要なの？

子どもや学校が抱える課題の解決や子どもたちの豊かな成長のためには、学校を含めた地域全体で子どもを育てる仕組みが必要です。

コミュニティ・スクールでは、学校と地域が「どんな子どもに育ってほしいか」「どんな学校にしたいか」といった目標やビジョンを共有し、それぞれの立場でできることを話し合い、学校運営に反映させていくことで、地域と共にある学校づくりをめざして活動します。



地域の人とは どんなことをするの？

学校運営協議会で話し合われたことを基に、市が委嘱した地域コーディネーターが企画・調整を行い、地域の人へ協力を依頼します。

依頼の内容は、子どもの見守りや夏休みの居場所づくりなど多岐にわたります。

例として、コミュニティ・スクールに指定している藤山台小・中学校では、休み時間の見守りや夏休み期間中の英語遊びを実施しました。



コミュニティ・スクールで期待されること

- 1 子どもたちへの多様な学びの創出
- 2 自分のまちへの愛着形成
- 3 地域全体の活性化
- 4 防犯・防災に強い安全・安心な地域づくり
- 5 学校に対する地域の理解の深まり
- 6 教員の負担軽減による子どもと向き合う時間の確保

花壇の整備や登下校時の見守りなど、学校運営に協力できる人は、住んでいる地区の学校へ連絡してください。

また、地域コーディネーターが地域の皆さんに声かけをすることもあるため、協力をお願いします。

